平成21年度
決算報告

景気低迷、雇用環境の悪化・・・税収の増加が見込めない中、住民の皆さんは、「若狭町の財政は大丈夫？」と不安を抱かれている方も少なくないはずです。決算が出そろいましたので平成21年度の財政事情をお知らせします。

若狭町財政…好転に向け、正念場

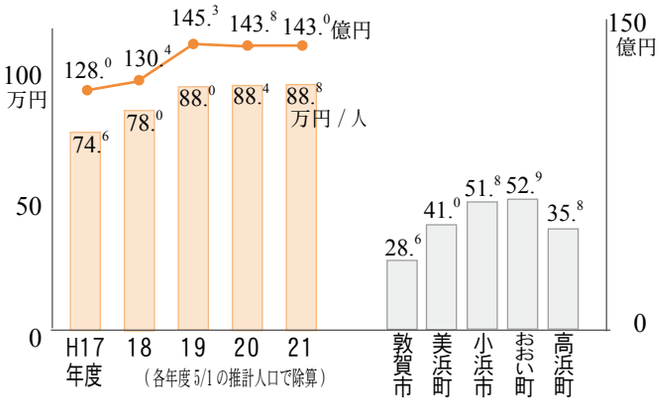
借金　住民一人あたり約８８万円

普通会計ベース

町の借金（公債費残高）は、平成19年度以降少しずつ減っているものの、平成21年度の借り入れで約143億円（普通会計）となりました。

すべての会計（一般会計、12特別会計、3企業会計）では、約250億円という膨大な金額になっています。

借金残高の推移とH21年度近隣市町の様子



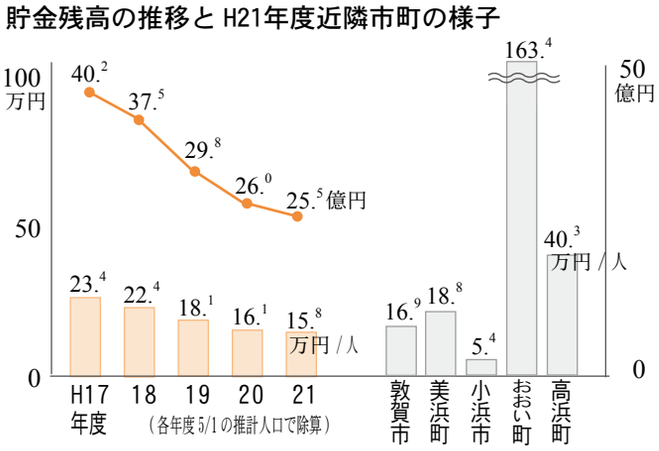
貯金　住民一人あたり約１５万円

普通会計ベース

町の貯金（基金残高）は、大型事業などで取り崩しを行ってきたため、年々減少し平成17年度の貯金残高の6割に目減りしました。

また、残高25.5億円のうち使い道が決められている貯金を除いた自由に使える貯金は約8.9億円となっています。

貯金残高の推移とH21年度近隣市町の様子



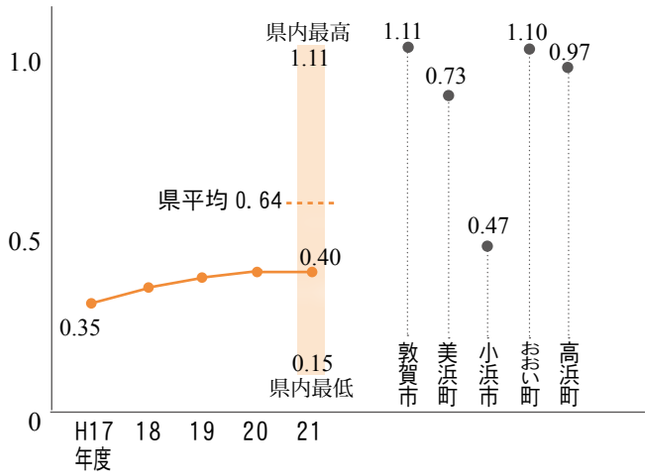
財政力指数　０．４０

普通会計ベース

数値が大きいほど、豊かな財政といえる財政力指数。若狭町の財政力指数は近年ほぼ横ばい。

しかし、県内あるいは全国でも決して高い方とはいえず、さらなる財政の健全化への取り組みが必要といえます。

財政力指数の推移とH20年度近隣市町の様子



財政の健全度合いを表す指標を公表します

若狭町の平成21年度決算では、各指標とも基準値内で健全な数値となりましたが、県内で最も悪い数値となっています。

数値低いほど健全

■健全化判断比率

（　）内はH20年度値

	早期健全化基準	若狭町の比率
実質赤字比率	14.54%	－（－）
連結実質赤字比率	19.54%	－（－）
実質公債費比率	25.0 %	16.5%（16.3%）
将来負担比率	350.0 %	200.1%（220.6%）

実質赤字比率

一般会計等の赤字額の程度を町の財政規模と比較して指標化。若狭町は黒字となっているので「－」となります。

〈家計に例えると・・・〉

収入：年間収入

支出：食費｜光熱水費｜貯金｜ローン｜娯楽｜黒字

連結実質赤字比率

一般会計等とすべての公営企業会計を合算して赤字の程度を町の財政規模と比較して指標化。若狭町は黒字となっているので「－」となります。

実質公債費比率

収入に占める借金返済額の割合です（3か年平均）。若狭町の数値は危険ライン未満ですが、県内では最も悪い数値となっています。

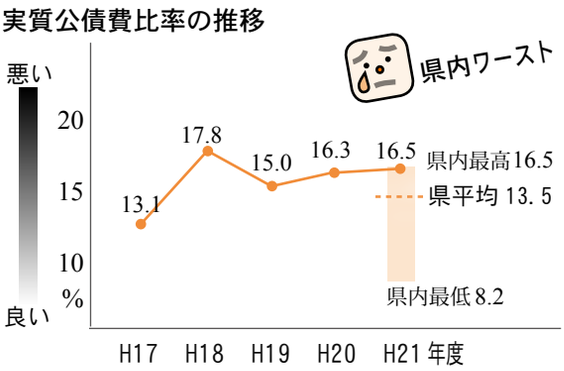
〈家計に例えると・・・〉

収入：年間収入

支出：借金返済額

危険ライン

実質公債費比率の推移



将来負担比率

将来負担すべき負債額の割合です。今後の財政運営が圧迫される度合いを示します。若狭町は県内で最も悪い数値となっています。

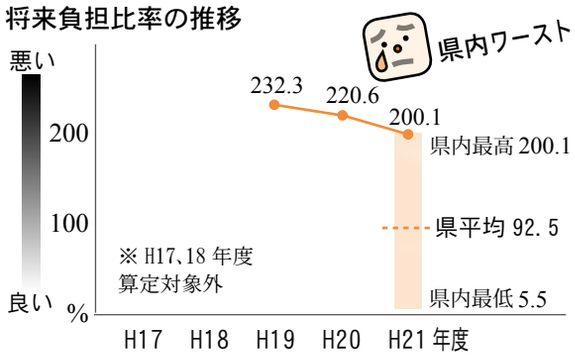
〈家計に例えると・・・〉

収入：年間収入

支出：借金残高｜保険の支払い等

貯金｜将来にわたって支払いが必要となるもの

将来負担比率の推移



■資金不足比率

（　）内はH 20年度値

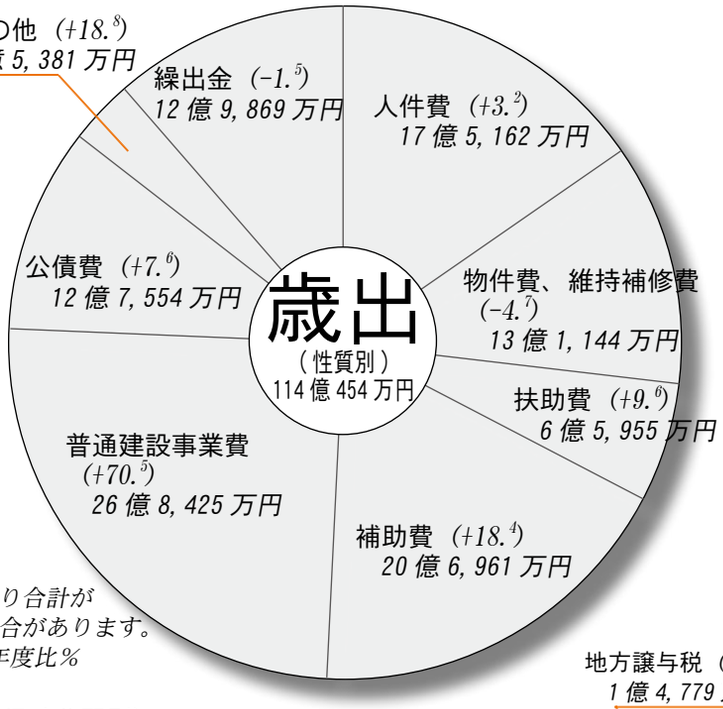
会計	経営健全化基準	若狭町の比率
簡易水道事業	20.0%	－（－）
農業集落排水処理事業		－（－）
漁業集落排水処理事業		－（－）
公共下水道事業		－（－）
土地開発事業		－（－）
水道事業		－（－）
工業用水道事業		－（－）
国民健康保険上中病院事業		－（－）

上下水道、病院など特別会計や公営企業の資金不足を指標化し、経営の深刻度を示す基準。

若狭町はすべての公営企業会計などにおいて、赤字となっていないため、資金不足比率は「－」となります。

もし、ある公営企業会計で赤字が出たときは、赤字額をその公営企業の料金収入の規模と比較して指標化します。

平成21年度決算 一般会計



端数処理により合計が一致しない場合があります。
（　）内は前年度比％

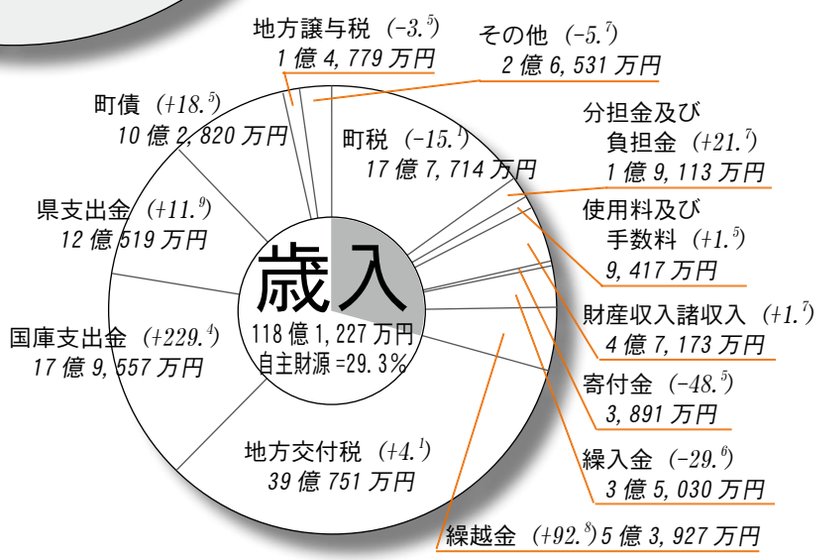
★主な事業
- 小学校耐震化工事 約3億8千万円
- 中学校耐震化エコ改修工事 約8億1千万円
- 若狭路食フェア 約6千万円
- 有害鳥獣対策等 約7千万円

歳出 **学校耐震増**

歳入 **税収15%減**

歳出（行政分野別）

分野	金額	前年度比％
議会費	9,463万円	-1.1
総務費	19億1,445万円	+21.6
民生費	19億4,254万円	+5.8
衛生費	11億5,174万円	-22.8
労働費	6,659万円	+98.3
農林水産業費	11億2,363万円	+3.4
商工費	2億6,382万円	+24.8
土木費	8億9,974万円	-12.7
消防費	3億8,527万円	0.0
教育費	22億5,883万円	+166.8
公債費	12億7,554万円	+7.6
諸支出金	2,772万円	+33.8



平成21年度決算 特別会計 企業会計

若狭町には、一般会計のほかに12の特別会計、3つの企業会計があります。

◆特別会計
特定の事業について独立した予算で行う会計

◆企業会計
地方公営企業法の適用を受けるもので、特定の事業について独立採算制をとっている会計

国民健康保険特別会計
歳入/16億5,810万円
歳出/15億9,572万円
若狭町国民健康保険に加入している人の医療費給付などを行う会計です。保険税の徴収率は97.59％となっています。

直営診療所特別会計
歳入/862万円
歳出/830万円
直営診療所を管理運営する会計です。収入の大部分は、わたしたちが受診して支払う診療費と一般会計からの繰入金です。

老人保健特別会計
歳入/949万円
歳出/542万円
平成19年度以前の75歳以上の高齢者の医療をまかなう会計です。支出の大部分は、医療費と国などへの償還金です。

介護保険特別会計
歳入/14億1,397万円
歳出/13億9,617万円
65歳（特定疾病のある人は40歳）以上で、介護認定を受けた人の介護に必要な費用の給付や、介護サービスの提供を行う会計です。

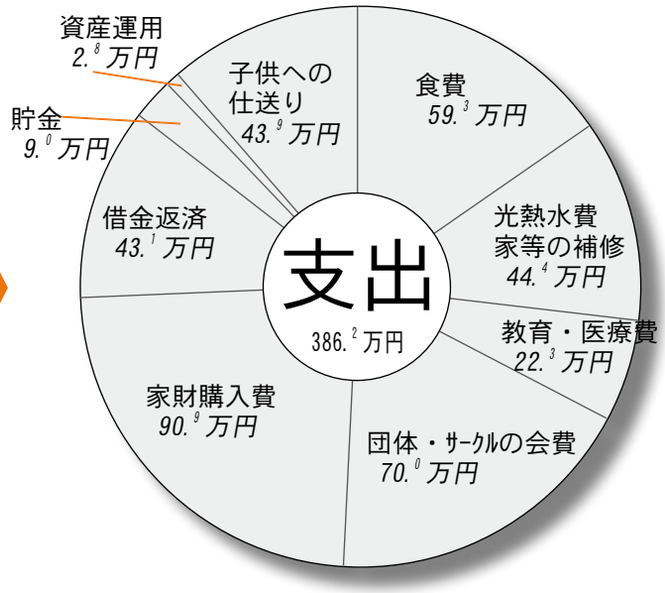
後期高齢者医療特別会計
歳入/1億7,022万円
歳出/1億7,011万円
75歳以上の高齢者の保険料を徴収するための会計です。支出の大部分は、福井県後期高齢者医療広域連合へ支出する保険料です。

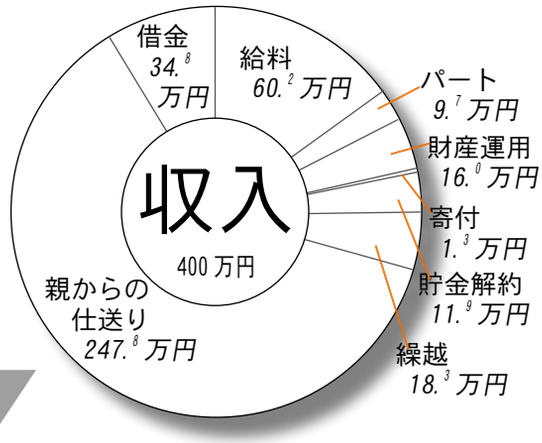
簡易水道事業特別会計
歳入/1億6,303万円
歳出/1億5,186万円
主に三方地域を給水区域とする簡易水道施設を維持管理運営していくための会計です。

家計に例えてみると・・・

町の会計は、約100億円という規模で、わたしたちの生活からは実感がわきません。そこで、年収400万円の家庭の家計に置き換えて見てみます。

「人件費」を「食費」に、「物件費」を「光熱水費」になど、「町の性質別の歳出」を「内容が似ている家庭の支出」に置き換えて表します。





年収の5倍の生活費

ここで、いえることは、収支としては13万8千円の黒字ですが、家族で稼いだお金（給料、パート収入）は、69万9千円しかないのに、400万円の支出をしていることです。

稼いだお金の4倍以上にあたる290万円以上を親からの仕送りや借金、これまで貯めていた貯金の解約などで何とかやりくりしています。

仕送り頼り

生活費が、家族で稼いだお金の5倍以上になっている現状では、とてもぜい沢できるような状態ではなく、支出を減らすか、アルバイト収入を増やすか、何か手を打たなければ、親（国や県）に頼り続けるか、借金が増え続けるばかりです。

農業者労働災害共済事業特別会計

歳入 /364万円
歳出 /323万円

農業労働による災害を受けた人を救済するために設けられた独立採算制の会計です。

公共下水道事業特別会計

歳入 /6億6,817万円
歳出 /6億5,545万円

公共下水道処理施設の維持管理を行う会計で、三方、海山・塩坂越、熊川、三宅地区が対象です。

水道事業会計

収益的 収入 /1億7,765万円 支出 /1億2,450万円
資本的 収入 /3,208万円 支出 /6,187万円

上中地域（一部を除く）の水道事業を経営するために設けられた独立採算制の会計です。

農業集落排水処理事業特別会計

歳入 /4億8,542万円
歳出 /4億7,448万円

農業集落排水処理施設の維持管理を行う会計で、三十三地区や野木地区など9地区が対象です。

町営住宅等特別会計

歳入 /1億4,859万円
歳出 /1億4,685万円

町営・公営・集合住宅の維持管理を行う会計です。主な収入は、住宅の入居者の家賃です。

工業用水道事業会計

収益的 収入 /3,073万円 支出 /1,874万円
資本的 収入 /955万円 支出 /1,587万円

工業用水道事業を経営するための会計で、若狭中核工業団地の6企業に工業用水を供給しています。

漁業集落排水処理事業特別会計

歳入 /3,163万円
歳出 /3,160万円

漁業集落排水処理施設の維持管理を行う会計で、常神、神子、小川、世久見地区が対象です。

土地開発事業特別会計

歳入 /3,386万円
歳出 /3,297万円

宅地分譲を行う会計です。朝霧団地、若王子団地などが対象です。現在、朝霧団地3区画、若王子団地2区画を分譲中です。

上中病院事業会計

収益的 収入 /7億4,691万円 支出 /7億4,566万円
資本的 収入 /178万円 支出 /3,252万円

上中病院を経営するための会計です。収入の大部分は、わたしたちが受診して支払う診療費です。